

2005年度事業報告

1 概要

2006年の学会創設20周年記念事業の成果がではじめた。2005年7月に会員から公募した企画案「ゲーム型キャリアデザイン学習教材の開発」を記念事業に採用した。12月には4年前に編集が開始された人工知能学事典を刊行した。さらに、学会誌の20周年記念号の企画として、初期会長座談会、記念ワークショップ、学会の統計データの調査等を随時実施した。また、学生・若手研究者向けに、AIの創始者の一人であるミンスキー教授の特別講演会を実施し、その講演録をオンライン配信した。このように、学会を活性化するために各種の積立金を有効に活用して新しい企画を次々に具体化した。

会員数の推移は、種々の活性化対策の効果で学生会員の入会が増え、10年振りに増加に転じ、長い間の悲願であった会員数の減少に歯止めが掛かった。

隔月発行の学会誌は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとにホットなテーマの特集、解説、連載記事や新たな企画で内容の充実を図った。とりわけ、2006年5月号を学会創設20周年記念号とすることで編集を進めた。一方、論文は採録決定後直ちに(独)科学技術振興機構のJ-STAGEシステムに掲載するとともに、本年度も1年分の論文46編をまとめた人工知能学会論文誌 Vol.20, 2005 を発行した。

第19回全国大会は6月15日から3日間にわたり北九州市の国際会議場で開催した。一般発表に296件の応募(口頭発表198件、デジタルポスタ発表9件、近未来チャレンジ32件、オーガナイズドセッション57件)があり、参加者は489名に達した。なお、特別講演と基調講演は北九州市との共催行事として一般公開し、地域の活性化に協力した。

国際交流活動の一環として、全国大会に併設して5つの国際ワークショップを開催した。68件の発表があり、参加者は114名で、このうち海外から5カ国15名の参加があった。また、本年度も5月にロボカップ2005大阪世界大会を共催し、JSAI賞を贈呈した。

研究会は、それぞれの研究会開催の他に、他学会との合同研究会や全国大会でのオーガナイズドセッションを開催するなど活発な活動を行った。なお、新たに2つの第2種研究会「社会におけるAI研究会」「データマイニングと統計数理研究会」の設立提案が承認され、次年度より活動を開始することになった。

セミナーは4回開催され好評であった。また、AI若手の集い(MYCOM)は本年度で6回目をむかえ、6月に京都の妙心寺大心院で開催された。

2005年度の表彰では、業績賞2件、論文賞2件、研究会優秀賞10件、全国大会優秀賞5件が選定された。

他学会との協調による学会活動の活性化と多様化を推進するため、国内外の人工知能関連の催し物を積極的に共催(3件)・協賛(58件)した。

広報活動の一環として、講演録のオンライン配信を追加してホームページの充実に注力すると同時に、非会員も登録可能なメーリングリストの運用を推進するなど、会員外の方々へのサービスの充実にも注力した。

2 会員現況(2006年3月31日)

	本年度末 (平成18年3月31日)	前年度末 (平成17年3月31日)	増減数
正会員	2,722名	2,730名	8名減
学生会員	431名	421名	10名増
名誉会員	6名	6名	0
賛助会員	43社	43社	0
特殊購読会員	85団体	91団体	6団体減

3 会誌・論文誌の発行（会誌の発行部数：3,800）

人工知能学会誌

第20巻 第3号（通巻111号）2005年5月1日発行 253～356頁

特集「ようこそ人工知能の世界へ：編集委員今年の初夢」「ネットワークが創発する知能」、レクチャーシリーズ「脳科学(3)：MEGによる脳活動の観察」、論文特集「人間と共生する情報システム」の企画、論文誌アブストラクト、社会へのアンテナ「研究者のロマンスとその教育効果」、学生フォーラム「ロボット研究から見えてくる人の知能」

第20巻 第4号（通巻112号）2005年7月1日発行 357～507頁

特集「意図研究のスペクトル」「使えるAI、がんばるAI」、解説「検索エンジンから分析エンジンへ」、アーティクル「タンパク質立体構造予測の現状と未来」、レクチャーシリーズ「脳科学(4)：脳の左右差」、論文誌アブストラクト、学生フォーラム「出会いを大切にせよ」

第20巻 第5号（通巻113号）2005年9月1日発行 509～626頁

特集「スキルサイエンス」「日常生活にとけこむデジタルヒューマン」、解説「オントロジー構築のための実在論的方法論」、レクチャーシリーズ「脳科学(5)：言語崩壊より見る大脳の言語処理」、論文誌アブストラクト、学生フォーラム「人を幸せにするAI」

第20巻 第6号（通巻114号）2005年11月1日発行 627～764頁

特集「セマンティック Web サービス」「研究のツールボックス(3)」、解説「オントロジー構築ツールの現状」「構成的生物学」、連載チュートリアル「AI研究における評価のための実践的 Tips：研究計画から分析まで(第1回)：概論」、レクチャーシリーズ「脳科学(6)：発達初期における認知、言語と脳の発達の関連」、論文特集「オントロジーとその応用」の企画、論文誌アブストラクト、学生フォーラム「本物の研究者となるために」、連載：20周年記念事業の進捗状況「ゲームで学ぶ研究者のキャリアデザイン」

第21巻 第1号（通巻115号）2006年1月1日発行 1～142頁

特集「宇宙開発とAI」「学習支援の新たな潮流 - 学習科学と工学の相互作用 -」、アーティクル「人工知能学事典編集の四方山話」「Marvin Minsky 教授講演会」、連載チュートリアル「AI研究における評価のための実践的 Tips：研究計画から分析まで(第2回)：実験による評価」、特集「人工知能分野における博士論文」、論文誌アブストラクト、社会へのアンテナ「世に求められるものを創る醍醐味」、グローバル・アイ「ハーバード大学工学および応用科学科」、学生フォーラム「計算機からコミュニティまで」、連載：20周年記念事業の進捗状況「研究者のモデル化」

第21巻 第2号（通巻116号）2006年3月1日発行 143～266頁

特集「会話情報学」「感性コミュニケーション」「使えるAI、がんばるAI(第2回)」、近未来チャレンジ卒業記念解説「日常言語コンピューティング」、アーティクル「近未来チャレンジ卒業記念対談」、連載チュートリアル「AI研究における評価のための実践的 Tips：研究計画から分析まで(第3回)：調査による評価」、レクチャーシリーズ「脳科学(7)：多チャンネル事象関連電位を用いた文理解研究」、論文特集「近未来チャレンジ」の企画、論文誌アブストラクト、社会へのアンテナ「夢と好奇心に導かれて」、グローバル・アイ「アリゾナ滞在記」、学生フォーラム「Kansei 工学までの道」、連載：20周年記念事業の進捗状況「研究の状態表現」

人工知能学会論文誌の発行（2001年1月1日より会誌から分離して発行）

- （独）科学技術振興機構のJ-Stageを利用してオンラインジャーナルを随時発行
- ・Vol. 20 - 3：13編（アブストラクトを会誌第20巻 第3号に掲載）
- ・Vol. 20 - 4：5編（アブストラクトを会誌第20巻 第4号に掲載）
- ・Vol. 20 - 5：4編（アブストラクトを会誌第20巻 第5号に掲載）

- ・ Vol. 20 - 6 : 11 編 (アブストラクトを会誌第 20 巻 第 6 号に掲載)
- ・ Vol. 21 - 1 : 14 編 (アブストラクトを会誌第 21 巻 第 1 号に掲載)
- ・ Vol. 21 - 2 : 9 編 (アブストラクトを会誌第 21 巻 第 2 号に掲載)

ハードコピー版 (保存版合本)

11月に Vol. 20 - 1 から Vol. 20 - 6 までの 1 年分の論文 46 編のハードコピーを 1 冊にまとめ、人工知能学会論文誌 Vol. 20, 2005 として発行した。

4 人工知能学事典と「知の科学」シリーズの出版

2002 年度に設立された下記の委員会で事典とシリーズ本の編集が進められてきましたが、事典は 2005 年 12 月、シリーズ本は 2005 年 1 月より出版の運びとなった。

人工知能学事典編集委員会 (2005 年 12 月 10 日に刊行)

編集委員長 田中 穂積 (中京大)

編集副委員長 石塚 満 (東大), 溝口 理一郎 (阪大)

編集幹事 沼尾 正行 (阪大), 武田 英明 (NII), 萩田 紀博 (ATR),
丸山 文宏 (富士通), 島津 秀雄 (NEC)

編集顧問 堂下 修司 (龍谷大)

構成

第 1 章 人工知能基礎	編集担当: 石塚 満
第 2 章 知の基礎科学: 哲学, 心理学, 認知科学, 脳科学	編集担当: 國藤 進, 下嶋 篤, 鈴木 宏昭, 藤波 努, 櫻井 彰人
第 3 章 知識表現・論理・推論	編集担当: 佐藤 健
第 4 章 知識モデリング	編集担当: 溝口 理一郎
第 5 章 機械学習	編集担当: 沼尾 正行
第 6 章 進化・創発	編集担当: 伊庭 斉志
第 7 章 自然言語処理	編集担当: 松本 裕治
第 8 章 画像・音声メディア	編集担当: 間瀬 健二
第 9 章 ヒューマンインタフェース	編集担当: 竹林 洋一
第 10 章 エージェント	編集担当: 石田 亨
第 11 章 Web インテリジェンス	編集担当: 武田 英明
第 12 章 ロボティクス	編集担当: 浅田 稔
第 13 章 知識発見・データマイニング	編集担当: 元田 浩
第 14 章 ソフトコンピューティング	編集担当: 櫻井 彰人
第 15 章 AI 応用: 人工知能の産業応用	編集担当: 島津 秀雄
第 16 章 AI 応用: ナレッジマネジメント	編集担当: 山口 高平
第 17 章 AI 応用: バイオロジー	編集担当: 小長谷 明彦
第 18 章 AI 応用: 教育支援	編集担当: 池田 満
第 19 章 AI 応用: ゲーム	編集担当: 松原 仁

「知の科学」シリーズ出版委員会 (2005 年 1 月より刊行開始)

委員長 石塚 満 (東大)

委員 奥乃 博 (京大), 折原 良平 (東芝), 武田 英明 (NII), 沼尾 雅之 (IBM)
堀 浩一 (東大), 松原 仁 (はこだて未来大)

顧問 大須賀 節雄

既 刊

2005 年度：「進化論的計算手法」,「オントロジー工学」,「テキスト自動要約」

2006 年度：

・「コミュニケーションロボット」(2005 年 4 月 20 日発行)

石黒 浩・宮下 敬宏・神田 崇行 共著

・「意思決定支援とネットビジネス」(2005 年 10 月 25 日発行)

藤本 和則・本村 陽一・松下 光範・庄司 裕子 共著

・「言語・知識・信念の論理」(2006 年 3 月 20 日発行) 東条 敏 著

5 全国大会 (第 19 回) の開催

・日 時：2005 年 6 月 15 日 (水) ~ 6 月 17 日 (金)

・場 所：北九州国際会議場 (北九州市小倉北区浅野 3-9-30)

・組 織：大会委員会, 実行委員会, プログラム委員会, ローカル委員会

大会委員長

溝口 理一郎 (大阪大学)

大会副委員長 (実行委員長)

中島 克人 (東京電機大学)

大会副委員長 (プログラム委員長)

東条 敏 (北陸先端科学技術大学院大学)

実行副委員長

磯崎 秀樹 (日本電信電話)

プログラム副委員長

武田 英明 (国立情報学研究所)

ローカル委員長

竹内 章 (九州工業大学)

ローカル副委員長

大貝 晴俊 (早稲田大学)

・構 成：

特別講演：「Artificial Intelligence and Web Search :Opportunities for Symbiosis」
Mehran Sahami 氏 (グーグル社)

基調講演：「人工知能が目指すもの」 後藤 敏 (早稲田大学)

AI レクチャー：

「近未来チャレンジ 5 年連続サバイバルのノウハウ」 矢入 郁子 (情通研)

「人工知能分野におけるオークション研究」 横尾 真 (九州大学)

「セマンテック Web と記述論理」 兼岩 憲 (国立情報学研究所)

CoBIT：「イベント空間情報支援プロジェクト情報サービス」 産業技術総合研究所

・一般発表申込件数 合計 296 件

・口頭発表 198 件

・デジタルポスタ発表 9 件

・近未来チャレンジ 32 件

・オーガナイズドセッション 57 件

・参加者：

参加者数：489 名	会員 (331)		非会員 (158)	
	一般	学生	一般	学生
発表参加者 (286 名)	105 名	71 名	24 名	86 名
聴講参加者 (203 名)	141 名	14 名	34 名	14 名

6 国際会議の開催

全国大会（第19回）併設国際ワークショップ（JSAI2005 International Workshops）

- ・主催：人工知能学会
- ・日時：2005年6月13日（月）～6月14日（火）
- ・場所：北九州国際会議場（北九州市小倉北区浅野 3-9-30）
- ・テーマ：
 - WS1: Logic and Engineering of Natural Language Semantics (LENLS2005)
 - WS2: Learning with Logics and Logics for Learning (LLLL2005)
 - WS3: Agent Network Dynamics and Intelligence (ANDI2005)
 - WS4: Conversational Informatics
 - WS5: Risk Management Systems with Intelligent Data Analysis (RMDA2005)
- ・参加者：

参加者数：114名	WS1	WS2	WS3	WS4	WS5
発表参加者（68名）	15名	13名	19名	12名	9名
聴講参加者（46名）	6名	5名	14名	14名	7名

7 研究会の開催

第1種研究会

人工知能基本問題研究会（旧人工知能基礎論研究会）（略称 SIG-FPAI）

主査：佐藤 健（国立情報学研究所）

幹事：鈴木 讓（阪大），平田 耕一（九工大），吉岡 真治（北大），市瀬 龍太郎（NII），赤石 美奈（東大）

- ・第59回（テーマ：「宇宙とAI」および一般）
期日：2005年7月15日（金）～16日（土） 場所：種子島宇宙センター
発表10件，招待講演2件，参加者19名
- ・第60回（テーマ：「ペイジアンネットワーク」および一般）
期日：2005年8月27日（土）～28日（日） 場所：長岡科学技術大学
発表11件，招待講演1件，参加者45名
- ・第61回（テーマ：「シンボルグラウンディング問題」および一般）
期日：2005年11月24日（木）～25（金）
発表18件，招待講演2件，参加者42名 場所：京大会館
- ・第62回（テーマ：「スキルサイエンス」および一般）
期日：2006年3月27日（月）～28（火） 場所：ホテルマウントレースイ
発表9件，招待講演3件，参加者34名

知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

主査：鷲尾 隆（阪大）

幹事：和泉 憲明（産総研），角所 考（京大），村田 剛志（NII），平野 章二（島根大）

- ・第70回（テーマ：「Web Intelligence」および一般）
期日：2005年8月2日（火） 場所：東京工業大学（大岡山校舎）
発表8件，参加者27名
- ・第71回（テーマ：JAWS2005「ヒューマンエージェントインタラクション」）
期日：2005年11月7日（月）～9日（水） 場所：箱根ホテル小涌園

- 発表 8 件, 参加者 63 名
(情報処理学会と共同開催, 電子情報通信学会協賛)
- ・第 72 回 (テーマ: 「安全・安心な社会生活の実現に向けた知識の活用とソフトウェア開発支援」および一般)
期 日: 2006 年 1 月 23 日 (月) ~ 24 日 (火) 場所: 慶応大学 (日吉校舎)
発表 16 件, 参加者 40 名
(電子情報通信学会と共同開催)
 - ・第 73 回 (テーマ: 「データマイニングと統計数理」および一般)
期 日: 2006 年 3 月 9 日 (木) ~ 10 日 (金) 場所: 大阪大学 (吹田校舎)
発表 22 件, 招待講演 3 件, 参加者 81 名

言語・音声理解と対話処理研究会 (略称 SIG-SLUD)

主査: 土屋 俊 (千葉大)

幹事: 宮崎 昇 (NTT), 堀内 靖雄 (千葉大), 矢野 博之 (情通研), 駒谷 和範 (京大)

- ・第 44 回 (テーマ: 一般)
期 日: 2005 年 6 月 3 日 (金) 場所: 京都工芸繊維大学
発表 9 件, 招待講演 1 件, 参加者 51 名
- ・第 45 回 (テーマ: 一般)
期 日: 2005 年 11 月 24 日 (木) ~ 25 日 (金) 場所: 長崎・やすらぎ伊王島
発表 8 件, 招待講演 1 件, 参加者 26 名
- ・第 46 回 (テーマ: 一般)
期 日: 2006 年 3 月 3 日 (金) 場所: 国立国語研究所
発表 6 件, 招待講演 1 件, 参加者 35 名

先端的学習科学と工学研究会 (旧知的教育システム研究会) (略称 SIG-ALST)

主査: 伊東 幸宏 (静大)

幹事: 高岡 良行 (東光精機), 柏原 昭博 (電通大), 小西 達裕 (静大)

- ・第 44 回 (テーマ: 「e-Learning と基盤技術」および一般)
期 日: 2005 年 5 月 14 日 (土) 場所: 電気通信大学
発表 9 件, 招待講演 1 件, 参加者 40 名
(電子情報通信学会と共同開催, IEEE Education Japan Chapter 協賛)
- ・第 45 回 (テーマ: 「学習モデルと知的支援」および一般)
期 日: 2005 年 11 月 5 日 (土) 場所: 神戸大学
発表 10 件, 参加者 33 名
(IEEE Education Japan Chapter 協賛)
- ・第 46 回 (テーマ: 一般)
期 日: 2006 年 3 月 13 日 (月) ~ 14 日 (火) 場所: 北陸先端科学技術大学院大学
発表 14 件, 招待講演 2 件, 参加者 47 名
(IEEE Education Japan Chapter 協賛)

第 2 種研究会

AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

主査: 奥乃 博 (京都大学)

幹事: 浅田 稔 (阪大), 中臺 一博 (ホンダ), 光永 法明 (ATR)

- ・第 21 回 (テーマ: 「RoboCup 2004 年 Japan Open」)
期 日: 2004 年 5 月 1 日 (土) ~ 4 日 (火) 場所: インテック大阪
発表 8 件, 参加者 35 名
- ・第 22 回 (テーマ: 「ロボット聴覚とロボット対話」)
期 日: 2004 年 12 月 6 日 (月) 場所: 京都大学
発表 14 件, 招待講演 3 件, 参加者 70 名

生命知識研究会（略称 SIG-BMK）

主査：小長谷 明彦（理化学研究所）

幹事：佐藤 賢二（北陸先端大），吉川 澄美（理研），福田 賢一郎（産総研）

・第4回（テーマ：「オープンバイオインフォマティクス」）

期 日：2006年3月10日（金）～11日（土）

場所：北陸先端大

発表10件，参加者40名

ことば工学研究会（略称 SIG-LSE）

主査：阿部 明典（ATR）

幹事：大塚 裕子（計量研），笠原 要（西日本 NTT）

・第20回（テーマ：「物語とコミュニケーション：その性質と生成」）

期 日：2004年7月2日（金）～3日（土）

場所：山梨大学甲府校舎

発表8件，招待講演2件，参加者28名

・第21回（テーマ：「感性」）

期 日：2004年11月12日（金）～13日（土）

場所：神奈川大学横浜校舎

発表4件，招待講演1件，参加者19名

・第22回（テーマ：「ことばで / から / に表現出来ること」）

期 日：2005年3月5日（金）

場所：関西大学千里山校舎

発表20件，招待講演1件，参加者44名

セマンティックウェブとオントロジー研究会（略称 SIG-SWO）

主査：山口 高平（慶大），副主査：池田 満（北陸先端大）

幹事：武田 英明（NII），津田 宏（富士通研），平松 薫（NTT），堀 雅洋（関西大）

・第10回（テーマ：「一般」）

期 日：2004年7月2日（金）

場所：東京

発表7件，招待講演1件，参加者119名

・第11回（テーマ：「一般」）

期 日：2004年7月30日（金）

場所：京都

（電子情報通信学会，けいはんな Web Semantics 研究会と連続開催）

発表9件，招待講演1件，参加者30名

・第12回（テーマ：「一般」）

期 日：2004年11月6日（土）

場所：慶応大学（矢上校舎）

発表3件，招待講演1件，参加者35名

8 講演会 / シンポジウム / ワークショップの開催

Marvin Minsky 教授特別講演会

期 日：2005年9月30日（金）

会場：学術総合センター

テ ー マ：AI 研究で大きな成果をあげるためには？

- 多様な「人間の常識」をコンピュータに持たせることが重要 -

オンライン配信：2006年10月31日まで配信中 <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/minsky/>

ロボカップ2005大阪世界大会（共催）

期 日：2005年7月13日（水）～19日（火）

場所：インテックス大阪

構 成：サッカーリーグ，レスキューリーグ，ジュニアリーグなど

JSAI 賞を贈呈

9 セミナーほか

第 48 回人工知能セミナー（テーマ：「脳科学と人工知能」）

期 日：2005 年 4 月 19 日（火） 10:00～16:30

場 所：慶応義塾大学 日吉キャンパス・来往舎

プログラム：

- ・「脳に学ぶことを通じて非自明な情報処理機構を創造する」 岡本 洋(富士ゼ ロックス)
- ・「身体性人工知能イメージに基づく自律的意味理解」 月本 洋(東京電機大)
- ・「内省的過程と直感的過程に基づく身体化による認知」 乾 敏郎(京大)
- ・「認知力学系で考えるロボットの学習行動」 谷 淳(理化学研究所)
- ・「最適制御のための意思決定機構」 石井 信(奈良先端大)

参加者：56 名

第 49 回人工知能セミナー（テーマ：「ヒューマンエージェントインタラクション」）

期 日：2005 年 12 月 8 日（木） 10:00～16:30

場 所：慶応義塾大学 日吉キャンパス・来往舎

プログラム：

- ・「ヒューマンエージェントインタラクション概論」 山田 誠二(NII)
- ・「なぜ人はエージェントに対人的反応をしてしまうのか？」 竹内 勇剛(静岡大学)
- ・「人はロボットをパートナーとしてみなすのか？」 今井 倫太(慶應義塾大学)
- ・「マルチエージェントに基づくシミュレーション」 高玉 圭樹(東京工業大学)
- ・「HAI 実現のための認知科学的アプローチ：共発達の構成論」 植田 一博(東京大学)

参加者：56 名

第 50 回人工知能セミナー（テーマ：「IT 研究者・技術者のキャリアプランニング」）

期 日：2006 年 1 月 16 日（月） 10:00～17:00

場 所：慶応義塾大学 日吉キャンパス・来往舎

プログラム：

- ・「人工知能学会における研究者のキャリア分析」 庄司 裕子(中央大学)
- ・「企業における技術職冥利」 辻野 広司(ホダ リサーチ インスティテュート ジャパン)
- ・「ダイミク的なキャリア育成に向けた研究機関の取組み」 萩田 紀博(ATR)
- ・「技術職のキャリア育成施策」 興 直孝(広島大学)
- ・「キャリア育成を支援する社会的活動」 柴田 有三(NPO 法人 KGC)

参加者：50 名

第 51 回人工知能セミナー（テーマ：「人工知能とメディア・ゲーム・教育」）

期 日：2006 年 3 月 30 日（木） 10:00～15:40

場 所：慶応義塾大学 日吉キャンパス・来往舎

プログラム：

- ・「教育支援のための人工知能技術」 池田 満(北陸先端科学技術大学院大学)
- ・「メディア処理のための基礎技術」 上田 修功(NTT CS 研)
- ・「成長を続けるオンラインゲームの現状と将来」 松原 健二(コーエー)
- ・「思考ゲーム研究の現在と未来」 松原 仁(公立はこだて未来大学)

参加者：20 名

第6回 AI 若手の集い MYCOM2005

期 日：2005年6月3日(金)～4日(土)

場 所：京都 妙心寺大心院

講 師：出口 弘 氏(東京工業大学大学院)

演題「人工知能研究者が社会に関する視座を確立するために」

構 成：一般発表 24 件，参加者 34 名

10 2005 年度の表彰

業績賞(第20回全国大会で表彰の予定：2006年6月8日)

学会規程に基づき，正会員による候補の推薦および業績賞選定委員会(委員長：溝口理一郎副会長)の審査を経て，第207回理事会で下記の受賞者を選定した。

業績賞受賞者：池原 悟(鳥取大学)

業績賞受賞者：河田 勉(東芝)

2005年度学会論文賞(第20回全国大会で表彰の予定：2006年6月8日)

学会規程に基づき 論文誌第20巻第1号～第6号に発表された論文(ショートノート，技術資料を含む)を対象に，正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会(委員長：堀浩一理事)の審査を経て，第207回理事会で下記の論文を選定した。

- ・「異なる例からの素性の組み合わせを用いたペアワイズ分類器の学習」
小山 聡，クリストファー D. マニング
- ・「形式オントロジーと順序ソート論理の拡張」
兼岩 憲，溝口 理一郎

研究会優秀賞(第20回全国大会で表彰の予定：2006年6月8日)

学会規程に基づき，2005年度の研究会で発表された論文を対象に，選定委員会(委員長：沼尾正行理事)による審査を経て，第207回理事会で下記の10編の論文を選定した。

- ・「組合せ集合の単純直交分解の抽出と発見科学への応用」
湊 真一
- ・「ロボットが表出する情報と外見がユーザの態度推定に与える影響」
小松 孝徳，山田 誠二
- ・「相関の違いに基づく含意的なアイテム集合の組を発見するためのアルゴリズム」
谷口 剛，原口 誠
- ・「文脈情報を考慮したフィルターによる属性選択」
三浦 輝久
- ・「雑談における発話のやりとりと盛り上がりとの関連」
徳久 良子，寺島 立太
- ・「ナビゲーションに伴う学習のための履歴比較支援の評価」
太田 光一，柏原 昭博
- ・「あなたの支援したいメタ認知とは？」
茅島 路子，稲葉 晶子，溝口 理一郎
- ・「パーソナルロボット PaPeRo における近接話者方向推定と2マイク音声強調」
佐藤 幹，杉山 昭彦，大中 慎一
- ・「隠喩と直喩、どちらが詩的か？」
内海 彰
- ・「RDF データを対象としたグラフ検索におけるクエリ生成方式の検討」
飯塚 京士，佐藤 宏之，イコ プラムディオノ，村山 隆彦

全国大会優秀賞(人工知能学会誌 Vol.20, No.5 で表彰：2005年9月1日発行)

各セッションに割り振られたプログラム委員による書面での評価と各セッションの座

長による発表を聞いての評価に基づき，プログラム委員会（東条敏プログラム委員長以下 20 名）で慎重かつ厳正に審議した結果，以下の 5 論文が最終候補として選定され，第 199 回理事会において承認されましたので，各論文の筆頭著者に賞を贈呈した．

- ・「ラフクラスタリングによる医療データの類型化の試み」 平野 章二
- ・「技術知識管理のための機能に関するオントロジーとセマンティックアノテーション」 來村 徳信
- ・「適応的学習コンテンツの知識レベル設計支援 - SCORM2004 準拠学習コンテンツの構成に関するオントロジー工学的考察 -」 林 雄介
- ・「会話量子を用いたミーティングのコンテンツ化支援」 齊藤 憲
- ・「開環境での協力ゲームにおける解概念の提案」 横尾 真

11 共催，協賛，後援などの催し物

以下のような依頼が理事会で承認（共催 3 件，協賛 58 件）されたので，学会誌やホームページを利用して PR し，他学会との協調による学会活動の活性化および多様化を推進した．

< 共催 > 3 件

- (01) 「The First International Conference on Algebraic Biology」組織委員会（17.11.28-30）
- (02) 「Design シンポジウム 2006」日本機械学会（18.7.4-5）
- (03) 「ロボカップ・ジャパンオープン 2006 北九州」ロボカップ日本委員会（18.5.4-6）

< 協賛 > 58 件

- (01) 「セミナー：便利なロボット技術ミドルウェアの使い方」日本ロボット学会（17.7.13）
- (02) 「シンポジウム：Randomness and Computation」文科省特定領域研究（17.7.18-21）
- (03) 「第 15 回インテリジェント・システム・シンポジウム」計測自動制御学会（17.9.26-27）
- (04) 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2005」ヒューマンインタフェース学会（17.9.15-17）
- (05) 「生体医工学シンポジウム 2005」日本エム・イー学会（17.9.27-28）
- (06) 「第 24 回シミュレーション学会大会」日本シミュレーション学会（17.7.14-15）
- (07) 「The 25th Anniversary International CBI Conference」CBI 学会（17.8.24-26）
- (08) 「The 10th Pacific-Asia Conference on Knowledge Discovery and Data Mining」Nanyang Tech. Univ. & National Univ. of Singapore（18.4.9-12）
- (09) 「シンポジウム：確率モデルが切り開く生命情報科学」科研費特定領域（17.7.22）
- (10) 「カラーフォーラム JAPAN2005」光学四学会連合（17.11.30-12.2）
- (11) 「教育システム情報学会 30 周年記念全国大会」教育システム情報学会（17.8.25-27）
- (12) 「第 20 回生体・生理工学シンポジウム」計測自動制御学会（17.9.5-7）
- (13) 「スケジュールリングシンポジウム 2005」スケジュールリング学会（17.9.29-30）
- (14) 「第 8 回情報論的学習理論ワークショップ」電子情報通信学会（17.11.9-11）
- (15) 「シンポジウム：第 1 回安全・安心の科学」計測自動制御学会（17.7.15）
- (16) 「セミナー：製品開発に活かせる組み込みシステム」システム制御情報学会（17.10.13-14）
- (17) 「シンポジウム：ケータイ・カーナビの利用性と人間工学」日本人間工学会（18.3.9-10）

- (18) 「第 21 回ファジイシステムシンポジウム」日本知能情報ファジイ学会 (17.7-9)
- (19) 「第 7 回日本感性工学会大会：モノ*感性 = 価値」日本感性工学会 (17.9.8-10)
- (20) 「セミナー：現代制御理論入門」計測自動制御学会 (17.9.12-13)
- (21) 「講習会：最新センサ技術が切り拓くクルマ社会」システム制御情報学会 (17.11.14-15)
- (22) 「セミナー：愛知万博次世代ロボット実用化プロジェクト」日本ロボット学会 (17.11.9)
- (23) 「講習会：車はどこまで賢くなるのか？」日本機械学会 (17.11.17)
- (24) 「セミナー：ポストロバスト制御理論の新展開と応用最前線」計測自動制御学会 (17.11.11)
- (25) 「シンポジウム：ものづくり産業の振興」関西情報・産業活性化センター (17.11.22)
- (26) 「シンポジウム：バイオインフォマティクス人材養成の歩み」文科省・産総研 (17.9.22)
- (27) 「バイオメディカルファジイシステム学会 2005 年度年次大会」同学会 (17.10.29-30)
- (28) 「第 18 回自律分散システム・シンポジウム」計測自動制御学会 (18.1.26-27)
- (29) 「セミナー：拘束系の解析・設計」計測自動制御学会 (17.11.29-30)
- (30) 「インタラクション 2006」実行委員会 (18.3.2-3)
- (31) 「第 6 回システムインテグレーション部門講演会」計測自動制御学会 (17.12.16-18)
- (32) 「第 1 回複合医工学シンポジウム」複合医工学インスティテュート (18.5.19-20)
- (33) 「セミナー：未来医療を切り拓くロボット」日本ロボット学会 (17.12.13)
- (34) 「第 33 回知能システムシンポジウム」計測自動制御学会 (18.3.16-17)
- (35) 「国際シンポ：第 3 回社会情報基盤のための音声・映像の知的統合」名大 COE (18.12.6)
- (36) 「第 24 回日本ロボット学会学術講演会」日本ロボット学会 (18.9.14-16)
- (37) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2006」日本機械学会 (18.5.26-28)
- (38) 「第 3 回複合現実感セミナー」日本バーチャルリアリティ学会 (17.11.8)
- (39) 「セミナー：実践的な制御理論」計測自動制御学会 (18.1.24-25)
- (40) 「シンポジウム：バイオナノの可能性を探る」IPAB (18.2.10)
- (41) 「IEEE 東京支部 50 周年設立記念セレモニー」IEEE 東京支部事務局 (18.3.1)
- (42) 「交流会：ファジイ・誘惑・サロン」日本知能情報ファジイ学会 (18.1.28)
- (43) 「セミナー：ヒューマノイド インタラクションテクノロジー」日本ロボット学会 (18.3.2)
- (44) 「セミナー：制御のためのシステム同定」計測自動制御学会 (18.3.6-7)
- (45) 「The First World Congress on Social Simulation(WCSS'06)」Pacific Asian Association for Agent-based Approach in Social Systems Sciences (18.8.21-25)
- (46) 「SCIS & ISIS 2006」日本知能情報ファジイ学会 (18.9.20-24)
- (47) 「8th International Colloquium on Grammatical Inference」実行委員会 (17.8.22-25)
- (48) 「3 次元画像コンフェレンス 2006」実行委員会 (18.7.6-7)
- (49) 「Dynamics and Design Conference 2006」日本機械学会 (18.8.6-9)
- (50) 「スケジュールリング国際シンポジウム 2006」日本機械学会 (18.7.18-20)
- (51) 「セミナー：脳型情報処理入門」日本ロボット学会 (18.4.25)
- (52) 「情報計算化学生物学会 2006 年大会」同学会 (18.7.24-26)
- (53) 「第 27 回バイオメカニズム学術講演会」バイオメカニズム学会 (18.10.28-29)
- (54) 「第 16 回インテリジェントシステムシンポジウム」日本機械学会 (18.9.26-27)
- (55) 「講習会：データを料理する」計測自動制御学会 (18.6.14)
- (56) 「セミナー「ゲインスケジュールリング」システム制御情報学会 (18.6.12-13)

(57)「第25回日本シミュレーション学会大会」日本シミュレーション学会(18.6.22-23)

(58)「ヒューマンインタフェースシンポジウム2006」ヒューマンインタフェース学会(18.9.25-28)

12 会議

2005年度第20回通常総会

表記総会を2005年6月16日(木)に北九州市の北九州国際会議場で開催した。定款に定められた総会の構成員は役員22名と評議員87名の合計109名。出席者は82名(委任状を含む)で、定款29条に規定する定足数53名を越えているので、総会が有効であることを確認した。次に互選により田中穂積氏を議長に選び、以下の6議案の審議を行った。

第1号議案 2004年度事業報告について

第2号議案 個人会員の除名について

第3号議案 2004年度決算報告および監査報告について

第4号議案 2005年度事業計画案について

第5号議案 2005年度予算案

第6号議案 2005年度役員・評議員構成案

その結果、全ての議案が原案通り承認された。

理事会

6月、10月を除く各月に計10回開催した。

委員会

時限委員会である功績賞・功労賞選定委員会と人工知能学事典編集委員会はその責務を遂行し解散した。

本年度は、業績賞選定委員会、記念事業実行委員会が設立され活動を開始した。

一方、下記委員会は、それぞれ随時開催された。

会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、全国大会委員会/同実行委員会/同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、総務委員会、出版委員会、活性化委員会、20周年記念事業委員会

13 規程などの制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および登記など

下記の通り、規程の制定および役員登記を行った。

- ・ISWC 返金引当基金に関する規程の改正(2005年4月22日改正)
- ・CrossRef 参加に関する覚書(JST)(2005年9月5日)
- ・人工知能学会プライバシーポリシー(2005年9月16日制定)
- ・人工知能学事典出版契約書(共立出版と2005年10月25日契約)
- ・国立情報学研究所電子図書館に係わる覚書(2006年1月5日締結)
- ・社団法人 人工知能学会・新役員を2005年7月28日に登記

収 支 予 算 書 (案)

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I				
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	21,000	10,500	10,500	
2 入会金収入				
正会員入会金	240,000	240,000	0	
学生会員入会金	110,000	95,000	15,000	
入会金収入合計	350,000	335,000	15,000	
3 会費収入				
正会員会費	27,000,000	27,000,000	0	
学生会員会費	1,680,000	1,600,000	80,000	
賛助会員会費	7,680,000	7,200,000	480,000	
特殊購読会員年会費	1,230,000	1,350,000	-120,000	
会費収入合計	37,590,000	37,150,000	440,000	
4 事業収入				
会誌別刷料	9,713,000	9,370,000	343,000	
会誌印税	797,160	797,160	0	
事典印税	1,100,000	2,000,000	-900,000	
全国大会収入	6,092,900	5,925,000	167,900	
全国大会(国際WS)	385,000	700,000	-315,000	
研究会登録料他	2,388,000	2,384,500	3,500	
セミナー参加費	1,095,000	1,435,000	-340,000	
AIシンポジウム参加費他	0	2,280,000	-2,280,000	
会誌など頒布代	400,000	450,000	-50,000	
JICST許諾料	200,000	170,000	30,000	
出版物印税	215,325	107,730	107,595	
事業収入合計	22,386,385	25,619,390	-3,233,005	
5 雑収入				
会誌広告料	430,750	1,001,500	-570,750	
会誌掲載料	120,000	360,000	-240,000	
郵送料他	12,000	15,500	-3,500	
受取利息	1,000	600	400	
コピーライト	120,000	150,000	-30,000	
論文集頒布代	30,000	50,000	-20,000	
雑収入合計	713,750	1,577,600	-863,850	
6 特定預金取崩収入				
活性化積立金	1,560,000	1,408,000	152,000	
普及啓蒙活動積立金	0	904,500	-904,500	
記念事業積立金	3,300,000	5,000,000	-1,700,000	
国際会議積立金	400,000	400,000	0	
名簿発行積立金	806,788	0	806,788	
特定預金取崩収入合計	6,066,788	7,712,500	-1,645,712	
7 補助金収入				
自治体補助金(全国大会)	0	1,200,000	-1,200,000	
自治体補助金(全国大会国際WS)	0	500,000	-500,000	
補助金収入合計	0	1,700,000	-1,700,000	
当期収入合計(A)	67,127,923	74,104,990	-6,977,067	
前期繰越収支差額	23,335,986	22,119,472		
収入合計(B)	90,463,909	96,224,462	-5,760,553	

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II				
1 事業費				
会誌印刷費	11,363,940	11,400,000	-36,060	
会誌別刷印刷費	708,800	990,800	-282,000	
会誌執筆謝礼	420,000	390,000	30,000	
事典執筆謝礼・配布	500,000	0	500,000	
会誌郵送費等発行諸経費	2,497,260	2,578,300	-81,040	
会誌論文誌印刷費	618,500	0	618,500	
全国大会開催費	4,205,542	4,913,000	-707,458	
全国大会(国際WS開催費)	1,562,600	2,922,000	-1,359,400	
研究会開催費	2,525,000	2,525,354	-354	
セミナー開催費	674,479	1,376,644	-702,165	
AIシンポジウム開催費	0	1,242,210	-1,242,210	
広報活動費	570,000	0	570,000	
表彰費	100,000	104,676	-4,676	
活性化活動費	1,560,000	1,408,000	152,000	
普及啓蒙活動費	0	904,500	-904,500	
記念事業活動費	3,300,000	5,000,000	-1,700,000	
国際会議費	400,000	400,000	0	
消費税	550,000	600,000	-50,000	
事業費合計	31,556,121	36,755,484	-5,199,363	
2 管理費				
家賃	2,201,336	2,121,336	80,000	
共益費	368,928	368,928	0	
光熱費	200,000	200,000	0	
リース料・保守・修理費	366,137	349,415	16,722	
什器備品費	50,000	50,000	0	
会議費	516,000	516,000	0	
旅費交通費	122,000	40,000	82,000	
通信・郵送費	1,579,504	1,901,440	-321,936	
印刷費	424,000	440,500	-16,500	
消耗品費	458,000	499,450	-41,450	
給料・手当	20,657,364	20,400,000	257,364	
臨時雇用費	1,475,000	1,910,000	-435,000	
法定福利費	2,800,000	2,800,000	0	
資料購入費	135,412	139,412	-4,000	
研修費	100,000	100,000	0	
諸会費	63,500	165,400	-101,900	
保険料	0	0	0	
OA維持費	200,000	250,000	-50,000	
福利厚生費	115,000	45,000	70,000	
会費引落経費	310,000	320,000	-10,000	
支払い手数料	110,000	90,000	20,000	
雑費	86,000	70,000	16,000	
外為手数料	0	0	0	
公認会計士費用	500,000	300,000	200,000	
管理費合計	32,838,181	33,076,881	-238,700	
3 その他の支出				
会費未納除却損	1,450,000	2,000,000	-550,000	
4 特定預金支出				
国際会議積立金	0	0	0	
退職金引当金	1,053,688	1,606,193	-552,505	
会費未納除却分引当金	0	0	0	
事務所整備積立金	0	0	0	
記念事業積立金	0	0	0	
活性化積立金	0	0	0	
国際活動積立金	0	0	0	
普及啓蒙活動積立金	0	0	0	
特定預金支出合計	1,053,688	1,606,193	-552,505	
当期支出合計(C)	66,897,990	73,438,558	-6,540,568	
当期収支差額(A)-(C)	229,933	666,432	-436,499	
次期繰越収支差額(B)-(C)	23,565,919	22,785,904	780,015	

正味財産増減計算書
平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

科 目	金 額	
増加原因の部		
1 基本財産運用収入		
基本財産利息収入	10,500	10,500
2 入金収入		
正会員入会金	236,000	
学生会員入会金	126,000	362,000
3 会費収入		
正会員会費	27,220,000	
学生会員会費	1,724,000	
賛助会員会費	8,200,000	
特殊購読会員年会費	1,275,000	38,419,000
4 事業収入		
会誌別刷料	11,944,000	
会誌印税	797,160	
事典印税	2,688,840	
全国大会収入	5,480,300	
全国大会(国際WS)	591,500	
研究会登録料、他	2,590,000	
セミナー参加費	1,337,500	
AIシンポジウム参加費	517,000	
会誌など頒布代	376,100	
JICST許諾料	233,940	
ISWC会議運営分担金	498,504	
出版物印税	552,588	27,607,432
5 補助金収入		
自治体補助金(全国大会)	1,200,000	
自治体補助金(全国大会WS)	400,000	1,600,000
6 雑収入		
会誌広告料	530,750	
会誌掲載料	212,000	
郵送料他	14,000	
受取利息	1,533	
コピーライト	131,403	
論文集頒布代	32,000	921,686
合 計		68,920,618

科 目	金 額	
減少原因の部		
1 事業費		
会誌印刷費	11,894,400	
会誌別刷印刷費	1,386,283	
会誌執筆謝礼	475,000	
事典執筆謝礼・配布	1,829,670	
会誌郵送費等発行諸経費	2,302,693	
全国大会開催費	4,522,984	
全国大会(国際WS)	1,873,608	
セミナー開催費	1,159,195	
研究会開催費	2,530,369	
AIシンポジウム開催費	304,577	
広報活動費	48,000	
表彰費	124,740	
消費税	569,700	29,021,219
2 管理費		
家賃	2,121,336	
共益費	368,928	
光熱費	207,850	
リース料・保守・修理費	273,750	
什器備品費	33,680	
会議費	457,170	
旅費交通費	54,390	
通信費	1,749,553	
印刷費	501,949	
消耗品費	388,367	
給料・手当	20,200,716	
臨時雇用費	1,593,915	
法定福利費	2,756,762	
資料購入費	116,412	
研修費	5,200	
諸会費	161,300	
保険料	0	
OA維持費	239,228	
福利厚生費	6,720	
会費引落経費	303,239	
支払い手数料	102,550	
雑費	72,228	
外為手数料	8,000	
公認会計士費用	420,000	32,143,243
3 会費未納除却損		1,433,800
4 特定預金支出		
国際会議積立金	99	
退職金引当金	1,606,281	
会費未納除却分引当金	414	
事務所整備積立金	50	
記念事業積立金	3,000,278	
名簿発行積立金	7	
活性化積立金	88	
国際活動積立金	77	
普及啓蒙活動積立金	30	
ISWC会議積立金	498,518	5,105,842
合 計		67,704,104
当期正味財産増加額		1,216,514
前期繰越正味財産額		62,461,056
期末正味財産合計額		63,677,570

貸借対照表

平成18年3月31日

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	738,676	
預貯金	34,721,401	
未収金	3,383,835	
前払金	190,980	
仮払金	45,360	
流動資産合計		39,080,252
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	35,000,000	
その他の固定資産		
入居保証金	4,344,000	
電話加入権	220,584	
担保金	777,000	
定期預金等	57,118,487	
その他の固定資産合計	62,460,071	
固定資産合計		97,460,071
資 産 合 計		136,540,323
負債の部		
1 流動負債		
未払金	4,699,738	
前受金	10,542,500	
預り金	232,288	
仮受金	269,740	
流動負債合計		15,744,266
2 固定負債		
退職金引当金	7,081,405	
会費未納分除却引当金	2,894,678	
事務所整備積立金	1,407,691	
記念事業積立金	11,057,235	
名簿発行積立金	806,788	
国際会議積立金	12,635,558	
国際活動積立金	9,810,824	
活性化積立金	6,771,136	
普及啓蒙活動積立金	2,463,451	
ISWC会議積立金	2,189,721	
固定負債合計		57,118,487
負 債 合 計		72,862,753
正味財産の部		
正味財産		63,677,570
(うち基本金)		(35,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(1,216,514)
負債及び正味財産合計		136,540,323

計算書類に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	35,000,000	-	-	35,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	31,280,029	35,460,077
未収金	4,309,711	3,383,835
前払金	294,688	190,980
仮払金	0	45,360
合計	35,884,428	39,080,252
前受金	10,096,000	10,542,500
未払金	2,189,214	4,699,738
預り金	1,215,002	232,288
仮受金	264,740	269,740
合計	13,764,956	15,744,266
次期繰越収支差額	22,119,472	23,335,986

4. 資産及び負債の科目別増加額及び減少額

科目	金額
1 増加の部	
(1) 資産増加額	
現金・預金	4,180,048
仮払金	45,360
特定資産	710,502
(2) 負債減少額	
預り金	982,714
増加額合計	5,918,624
2 減少の部	
(1) 資産減少額	
未収金	925,876
前払金	103,708
(2) 負債増加額	
前受金	446,500
未払金	2,510,524
仮受金	5,000
固定負債	710,502
減少額合計	4,702,110
当期正味財産増加額	1,216,514

2006年度事業計画(案)

1 運営・活動方針

定款の目的に沿って、以下の事業を行う。

- ・人工知能学会誌，人工知能学会論文誌，「知の科学」シリーズ等の発行
- ・全国大会，研究会，人工知能セミナー，国際ワークショップ，若手の集い等の開催
- ・功績賞，功労賞，論文賞，研究会優秀賞・全国大会優秀賞の表彰
- ・他学会や海外関連団体との連絡・協力による学会活動の活性化ならびに多様化の推進
- ・組織基盤の強化・拡充による会員サービスの向上

会誌は，引き続き本年度も魅力ある雑誌作りを目指して，タイムリーなテーマの特集記事や解説などで内容の充実をはかる。論文誌は，論文特集を積極的に企画して投稿論文の増加を図る。なお，2006年度も1年分の論文をまとめた人工知能学会論文誌 Vol.21, 2006 を発行する。

全国大会は2006年6月7日(水)から6月9日(金)の3日間，東京都江戸川区の総合区民ホールで開催する。また，同会場にて併設の国際ワークショップを6月5日(月)と6日(火)の2日間開催し，国際交流活動を推進する。

研究会は，従来の8研究会と新たに創設された2研究会で通常の研究会の開催のほかに，他学会との共催研究会を開催して活性化・多様化を図る。

定例行事として定着したAI若手の集い(MYCOM)は第7回を箱根で開催する。

人工知能セミナーは，人工知能学事典出版記念セミナー1回と最新的话题を選んだセミナーを2回開催する。

ホームページとメーリングリストを介した広報活動を通して新規入会者の勧誘を行う。

2006年度に学会創立20周年をむかえるので，学会誌5月号を20周年記念号として出版する一方，全国大会で記念事業を実施する。

2 会誌・論文誌の発行

人工知能学会誌の発行

第21巻 第3号(通巻117号)2006年5月1日発行 20周年記念号

「人工知能学会創設20周年」，初期会長座談会「人工知能学会の過去，現在，未来」，「データから見る人工知能学会の20年」，ワークショップ報告「今後10年の人工知能：大学とAI，産業界が次に目指すAI世界，未来社会とAI・わくわくするAI」，20周年記念公募事業実施報告(ゲーム型キャリアデザイン学習教材の開発)，論文アブストラクト，学生フォーラム，他。

第21巻 第4号(通巻118号)2006年7月1日発行

シリーズ特集「研究のツールボックス」(4)，特集「ソーシャルネットワーク時代のWebインタラクション」，連載チュートリアル「AI研究における実験計画と評価：事例に学ぶ実践的Tips」第4回，レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(8)，論文アブストラクト，他。

第21巻 第5号(通巻119号)2006年9月1日発行

特集「Mind Storms と教育」，「セキュリティとAI」，「世界のAI，日本のAI」，連載チュートリアル「AI研究における実験計画と評価：事例に学ぶ実践的Tips」第5回，レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(9)，アーティクル「20周年事業報告」，論文アブストラクト，他。

第21巻 第6号(通巻120号)2006年11月1日発行

特集「HAI：ヒューマンエージェントインタラクションの最先端」，「セマンティックコンピューティング」，「自然言語処理と辞書」，論文アブストラクト，他。

第 22 巻 第 1 号 (通巻 121 号) 2007 年 1 月 1 日発行
シリーズ特集「研究のツールボックス」(5), 特集「パターン認識関係」「バイオインフォマティクス関連」, 2006 年度博士論文特集, 論文アブストラクト, 他.

第 22 巻 第 2 号 (通巻 122 号) 2007 年 3 月 1 日発行
特集「未定」, 論文特集「データマイニングと統計数理」, 論文アブストラクト, 他.

人工知能学会論文誌 Vol. 21, 2006 と Vol. 22, 2007 の発行

(独) 科学技術振興機構の J-Stage を利用してオンラインジャーナルを随時発行

- ・ Vol. 21 - 3 : xx 編 (アブストラクトを会誌第 21 巻 第 3 号に掲載)
- ・ Vol. 21 - 4 : xx 編 (アブストラクトを会誌第 21 巻 第 4 号に掲載)
- ・ Vol. 21 - 5 : xx 編 (アブストラクトを会誌第 21 巻 第 5 号に掲載)
- ・ Vol. 21 - 6 : xx 編 (アブストラクトを会誌第 21 巻 第 6 号に掲載)
- ・ Vol. 22 - 1 : xx 編 (アブストラクトを会誌第 22 巻 第 1 号に掲載)
- ・ Vol. 22 - 2 : xx 編 (アブストラクトを会誌第 22 巻 第 2 号に掲載)

ハードコピー版 (保存版合本)

12 月に Vol. 21 - 1 から Vol. 21 - 6 までの 1 年分の論文のハードコピーを 1 冊にまとめて発行する予定.

3 出版事業

「知の科学」シリーズ: 2005 年 1 月より刊行開始

2006 年度の刊行予定:

- ・ 「知性の創発と起源」(2006 年 5 月刊行予定) 鈴木 宏昭 著
- ・ 「音声対話システム」(2006 年 8 月刊行予定) 河原 達也・荒木 雅弘 共著
- ・ 「福祉と情報技術」(2006 年 7 月刊行予定) 市川 薫・手嶋 教之 共著

4 全国大会 (第 20 回) の開催

- ・ 日 時: 2006 年 6 月 7 日 (水) ~ 6 月 9 日 (金)
- ・ 場 所: 江戸川区総合区民ホール (東京都江戸川区船堀 4-1-1)
- ・ 組 織: 大会委員会, 実行委員会, プログラム委員会
大会委員長 浅川 和雄 (富士通研究所)
大会副委員長 (プログラム委員長) 武田 英明 (国立情報学研究所)
大会副委員長 (実行委員長) 磯崎 秀樹 (NTT)
実行副委員長 関口 実 (富士通研究所)
プログラム副委員長 長尾 確 (名古屋大学)
- ・ 構 成:
招待講演: 「現代社会と科学・技術」 村上 陽一郎 (国際基督教大学)
基調講演: 「AI コアと情報環境/周辺」 石塚 満 (東京大学)
特別企画: 「経済産業省技術戦略マップの概要と学会への期待」 渡邊 政嘉 (経産省)
- AI レクチャー:
「先駆的知識メディアに関して」 宮田 一乗 (北陸先端大)
「バイオインフォマティクスとオントロジー」 福田 賢一郎 (産業技術総合研究所)
「近未来チャレンジ卒業記念パネル: 近未来から未来へ」 阿部 明典 (ATR)
- パネル討論: 「コンピュータの進歩で将棋は変わるか?」
司会: 松原 仁 (公立はこだて未来大学)
パネリスト: 大内延介 (棋士), 山岸浩史 (講談社), 山下宏 (プログラマ),

飯田弘之(北陸先端大), 伊藤毅志(電気通信大)

大会支援プロジェクトの実演

ワーキンググループ

Happy Academic Life 2006: 幸福な研究人生に至る道

研究人生を楽しむ会

併設国際ワークショップ(JSAI2006 International Workshops): 国際会議の項に記載

一般発表申込件数	合計 288 件
・口頭発表	155 件
・デジタルポスタ発表	9 件
・近未来チャレンジ	45 件
・オーガナイズドセッション	79 件

5 国際会議の開催

全国大会併設国際ワークショップ

- ・主 催: 人工知能学会
- ・日 時: 2006 年 6 月 5 日(月)~6 日(火)
- ・場 所: 江戸川区総合区民ホール(東京都江戸川区船堀 4-1-1)
- ・テーマ:
 - WS1: Logic and Engineering of Natural Language Semantics 2006
 - WS2: Workshop on Learning with Logics and Logics for Learning
 - WS3: Workshop on Risk Mining 2006
- ・参加者: 80 名(海外 10 名, 国内 70 名)以上の予定

6 研究会の開催

第 1 種研究会

人工知能基本問題研究会(略称 SIG-FPAI)

主査: 有村 博紀(北大)

- 第 63 回 07 月 札幌 テーマ「データマイニングまたは一般」
- 第 64 回 09 月 福岡 テーマ「ウェブ情報からの知識獲得または一般」
- 第 65 回 11 月 つくば テーマ「ベイジアンネットワークまたは一般」
- 第 66 回 11 月 東京 テーマ「シンボルグラウンディングまたは一般」

知識ベースシステム研究会(略称 SIG-KBS)

主査: 栗原 聡(阪大)

- 第 74 回 07 月 東京 テーマ「Web Intelligence および一般」
- 第 75 回 10 月 未定 テーマ「HAI」
(JAWS 特別セッション, 情報処理学会, 電子情報通信学会との共催)
- 第 76 回 01 月 未定 テーマ「社会システムにおける知能」
(電子情報通信学会との共催)
- 第 77 回 03 月 未定 テーマ「社会コミュニティ・ブログおよび一般」

言語・音声理解と対話処理研究会(略称 SIG-SLUD)

主査: 片桐 恭弘(はこだて未来大)

- 第 47 回 06 月 名護 テーマ「一般」
- 第 48 回 11 月 京都 テーマ「未定」

第 49 回 03 月 東京 テーマ「未定」

先進的学習科学と工学研究会（略称 SIG-ALST）

主査：池田 満（北陸先端大）

第 47 回 05 月 東京 テーマ「e-Learning 技術及び一般」

（電子情報通信学会と共同開催，IEEE Education Japan Chapter 協賛）

第 48 回 10 or 11 月 名古屋 テーマ「未定」

（IEEE Education Japan Chapter 協賛）

第 49 回 03 月 和歌山 テーマ「未定」

（IEEE Education Japan Chapter 協賛）

若手の会 12 月中旬 会場・テーマ：未定

第 2 種研究会

AI チャレンジ研究会（略称 SIG-Challenge）

主査：奥乃 博（京大）

第 23 回 05 月 北九州 テーマ「RoboCup 特集」

第 24 回 11 月 京大 テーマ「ロボット聴覚特集」

（SLUD 研究会と共催の予定）

生命知識研究会（略称 SIG-BMK）は分子生物情報研究会（SIG-MBI）に名称変更

主査：佐藤 賢二（北陸先端大）

第 1 回 08 月 産総研 テーマ「バイオインフォマティクスにおける機械学習」

第 2 回 11 月 未定 テーマ「バイオインフォマティクスにおける自然言語処理」

第 3 回 03 月 JAIST テーマ「オープンバイオ特集&一般講演」

ことば工学研究会（略称 SIG-LSE）

主査：阿部 明典（ATR）

第 23 回 未定

第 24 回 未定

第 25 回 未定

セマンティックウェブとオントロジー研究会（略称 SIG-SWO）

主査：山口 高平（慶大）

第 13 回 07 月 横浜 テーマ「セマンティック Web 応用特集」

第 14 回 11 月 東京 テーマ「セマンティック Web と Web2.0 特集」

第 15 回 03 月 北陸 テーマ「一般」

社会における AI 研究会（略称 SIG-SOC）

主査：神成 淳司（IAMAS/岐阜県）

第 1 回 08 月 東京 テーマ「社会に対する AI の技術適用」

第 2 回 11 月 東京 「情報社会のデザイン」合同シンポジウムとの共催を予定

第 3 回 未定

データマイニングと統計数理研究会（略称 SIG-DMSM）

主査：鷺尾 隆（阪大）

第 1 回 07 月 東京 テーマ「一般」

第 2 回 未定

第 3 回 未定

7 シンポジウム・ワークショップの開催

ロボカップジャパンオープン 2006 北九州（共催）

期 日：2006 年 5 月 4 日（木）～6 日（土）

西日本総合展示場（北九州市）

構 成：ロボカップサッカー，ロボカップレスキュー，ロボカップジュニアなど
JSAI 賞の贈呈

8 セミナーなどの開催

第 52 回人工知能セミナー（テーマ：「知的システムの基盤技術」）

期 日：2006 年 5 月 25 日（木） 10:30～16:00

場 所：神戸国際会館 4F 402 会議室

プログラム：

- ・「知識モデリング」 溝口 理一郎（大阪大学）
- ・「Web インテリジェンス」 武田 英明（国立情報学研究所）
- ・「機械学習」 沼尾 正行（大阪大学）
- ・「知識発見・データマイニング」 鷲尾 隆（大阪大学）

第 53 回人工知能セミナー（テーマ：「未定」）

期 日：2006 年 11 月頃

場 所：未定

第 54 回人工知能セミナー

詳細未定

第 7 回 AI 若手の集い MYCOM2006

期 日：2006 年 6 月 11 日（日）～12 日（月）

場 所：箱根 仙石原温泉 ホテル箱根パウエル

講 師：大須賀 節雄（東京大学名誉教授）

演題「情報処理の異種パラダイム変換の可能性 - 記号処理と非記号処理」

9 2006 年度の表彰

学会規程に基づき 2006 年度は以下の賞を贈呈する。

功績賞，功労賞
論文賞
研究会優秀賞
全国大会優秀賞
20 周年記念賞

10 共催，協賛，後援など

昨年度に引き続き，他学会との協調により学会活動の活性化，多様化を推進する。

11 会議

2006 年度第 21 回通常総会

6 月 8 日（木）東京（江戸川区総合区民ホール）

理事会

6 月，10 月を除く各月に計 10 回開催

委員会

会誌編集委員会，研究会運営委員会，企画委員会，全国大会委員会/実行委員会/プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員会，功績賞・功労賞選定委員会，出版委員会，活性化委員会，未来事業検討委員会

12 規程など制定・改正・廃止，契約締結，党書交換および認可など

・社団法人 人工知能学会・新役員登記（2006/07）

13 2006 年度役員構成（案）

別紙参照

14 2006 年度評議員構成（案）

別紙参照

収 支 予 算 書 (案)

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I				
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	21,000	10,500	10,500	
2 入会金収入				
正会員入会金	240,000	240,000	0	
学生会員入会金	110,000	95,000	15,000	
入会金収入合計	350,000	335,000	15,000	
3 会費収入				
正会員会費	27,000,000	27,000,000	0	
学生会員会費	1,680,000	1,600,000	80,000	
賛助会員会費	7,680,000	7,200,000	480,000	
特殊購読会員年会費	1,230,000	1,350,000	-120,000	
会費収入合計	37,590,000	37,150,000	440,000	
4 事業収入				
会誌別刷料	9,713,000	9,370,000	343,000	
会誌印税	797,160	797,160	0	
事典印税	1,100,000	2,000,000	-900,000	
全国大会収入	6,092,900	5,925,000	167,900	
全国大会(国際WS)	385,000	700,000	-315,000	
研究会登録料他	2,388,000	2,384,500	3,500	
セミナー参加費	1,095,000	1,435,000	-340,000	
AIシンポジウム参加費他	0	2,280,000	-2,280,000	
会誌など頒布代	400,000	450,000	-50,000	
JICST許諾料	200,000	170,000	30,000	
出版物印税	215,325	107,730	107,595	
事業収入合計	22,386,385	25,619,390	-3,233,005	
5 雑収入				
会誌広告料	430,750	1,001,500	-570,750	
会誌掲載料	120,000	360,000	-240,000	
郵送料他	12,000	15,500	-3,500	
受取利息	1,000	600	400	
コピーライト	120,000	150,000	-30,000	
論文集頒布代	30,000	50,000	-20,000	
雑収入合計	713,750	1,577,600	-863,850	
6 特定預金取崩収入				
活性化積立金	1,560,000	1,408,000	152,000	
普及啓蒙活動積立金	0	904,500	-904,500	
記念事業積立金	3,300,000	5,000,000	-1,700,000	
国際会議積立金	400,000	400,000	0	
名簿発行積立金	806,788	0	806,788	
特定預金取崩収入合計	6,066,788	7,712,500	-1,645,712	
7 補助金収入				
自治体補助金(全国大会)	0	1,200,000	-1,200,000	
自治体補助金(全国大会国際WS)	0	500,000	-500,000	
補助金収入合計	0	1,700,000	-1,700,000	
当期収入合計(A)	67,127,923	74,104,990	-6,977,067	
前期繰越収支差額	23,335,986	22,119,472		
収入合計(B)	90,463,909	96,224,462	-5,760,553	

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II				
1 事業費				
会誌印刷費	11,363,940	11,400,000	-36,060	
会誌別刷印刷費	708,800	990,800	-282,000	
会誌執筆謝礼	420,000	390,000	30,000	
事典執筆謝礼・配布	500,000	0	500,000	
会誌郵送費等発行諸経費	2,497,260	2,578,300	-81,040	
会誌論文誌印刷費	618,500	0	618,500	
全国大会開催費	4,205,542	4,913,000	-707,458	
全国大会(国際WS開催費)	1,562,600	2,922,000	-1,359,400	
研究会開催費	2,525,000	2,525,354	-354	
セミナー開催費	674,479	1,376,644	-702,165	
AIシンポジウム開催費	0	1,242,210	-1,242,210	
広報活動費	570,000	0	570,000	
表彰費	100,000	104,676	-4,676	
活性化活動費	1,560,000	1,408,000	152,000	
普及啓蒙活動費	0	904,500	-904,500	
記念事業活動費	3,300,000	5,000,000	-1,700,000	
国際会議費	400,000	400,000	0	
消費税	550,000	600,000	-50,000	
事業費合計	31,556,121	36,755,484	-5,199,363	
2 管理費				
家賃	2,201,336	2,121,336	80,000	
共益費	368,928	368,928	0	
光熱費	200,000	200,000	0	
リース料・保守・修理費	366,137	349,415	16,722	
什器備品費	50,000	50,000	0	
会議費	516,000	516,000	0	
旅費交通費	122,000	40,000	82,000	
通信・郵送費	1,579,504	1,901,440	-321,936	
印刷費	424,000	440,500	-16,500	
消耗品費	458,000	499,450	-41,450	
給料・手当	20,657,364	20,400,000	257,364	
臨時雇用費	1,475,000	1,910,000	-435,000	
法定福利費	2,800,000	2,800,000	0	
資料購入費	135,412	139,412	-4,000	
研修費	100,000	100,000	0	
諸会費	63,500	165,400	-101,900	
保険料	0	0	0	
OA維持費	200,000	250,000	-50,000	
福利厚生費	115,000	45,000	70,000	
会費引落経費	310,000	320,000	-10,000	
支払い手数料	110,000	90,000	20,000	
雑費	86,000	70,000	16,000	
外為手数料	0	0	0	
公認会計士費用	500,000	300,000	200,000	
管理費合計	32,838,181	33,076,881	-238,700	
3 その他の支出				
会費未納除却損	1,450,000	2,000,000	-550,000	
4 特定預金支出				
国際会議積立金	0	0	0	
退職金引当金	1,053,688	1,606,193	-552,505	
会費未納除却分引当金	0	0	0	
事務所整備積立金	0	0	0	
記念事業積立金	0	0	0	
活性化積立金	0	0	0	
国際活動積立金	0	0	0	
普及啓蒙活動積立金	0	0	0	
特定預金支出合計	1,053,688	1,606,193	-552,505	
当期支出合計(C)	66,897,990	73,438,558	-6,540,568	
当期収支差額(A)-(C)	229,933	666,432	-436,499	
次期繰越収支差額(B)-(C)	23,565,919	22,785,904	780,015	

2006年度人工知能学会役員構成（案）

全員：非常勤

役職名	種別	氏名	所属
会長	新任	溝口 理一郎	大阪大学 産業科学研究所 知識システム研究分野
副会長	留任	浅川 和雄	(株)富士通研究所 ITメディア研究所
副会長	新任	堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻 知能工学講座
理事	留任	秋山 泰	産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター
理事	新任	伊庭 斉志	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 基盤情報学専攻
理事	留任	奥村 明俊	NEC(株) メディア情報研究所
理事	新任	木下 聡	(株)東芝 研究開発センター
理事	新任	佐藤 健	国立情報学研究所 情報学基礎研究系
理事	留任	関口 実	(株)富士通研究所 ユビキタスシステム研究センター
理事	留任	竹林 洋一	静岡大学 情報学部 情報科学科
理事	留任	辻野 克彦	三菱電機(株) 先端総研 ソリューション技術部
理事	留任	辻野 広司	(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン
理事	留任	寺野 隆雄	東京工業大学 知能システム科学専攻
理事	新任	堂坂 浩二	日本電信電話(株) NTTコミュニケーション科学基礎研究所
理事	留任	長尾 確	名古屋大学 工学研究科 情報工学専攻
理事	新任	西田 豊明	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
理事	留任	久光 徹	(株)日立製作所 医療事業統轄本部
理事	新任	横尾 真	九州大学 システム情報科学研究院
理事	新任	鷲尾 隆	大阪大学 産業科学研究所 知能システム科学研究部門
理事	新任	渡辺 日出雄	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所
監事	留任	大河内 正明	日本アイ・ピー・エム(株) 技術・コンピテンシー開発
監事	新任	管村 昇	工学院大学 CPDセンター

(理事は五十音順, 敬称略)

2006年度評議員構成（案）

氏 名	種 別	所	属
赤埴 淳一	再留任	日本電信電話(株) 第三部門プロデュース担当	
秋吉 政徳	留 任	大阪大学 情報科学研究科 マルチメディア工学専攻	
阿久津 達也	新 任	京都大学 化学研究所 バイオインフォマティクスセンター	
浅田 稔	再 任	大阪大学大学院 工学研究科 知能・機能創成工学専攻	
麻生 英樹	再 任	産業技術総合研究所 情報処理研究部門	
阿部 亨	新 任	東北大学 情報シナジーセンター	
安部 憲広	新 任	九州工業大学 情報工学部 機械システム工学科	
池田 満	再 任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科	
池田 裕治	新 任	キヤノン(株) P F 技術開発センター コンピュータ技術	
石川 泰	再 任	三菱電機(株) 情報技術総合研究所	
磯崎 秀樹	新 任	日本電信電話(株) コミュニケーション科学基礎研究所 知能情報研究部	
市吉 伸行	留 任	(株)三菱総合研究所 情報通信技術研究本部 情報技術研究グループ	
伊藤 慶明	新 任	岩手県立大学 ソフトウェア情報学部	
岩崎 弘利	新 任	(株)デンソー アイティラボラトリ 研究開発グループ	
岩橋 直人	再 任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 音声言語コミュニケーション研究所	
大貝 晴俊	再留任	早稲田大学大学院 情報生産システム研究科	
岡 夏樹	再留任	京都工芸繊維大学 工芸学部 電子情報工学科	
奥乃 博	留 任	京都大学大学院 情報学研究科 知能情報学専攻	
鬼澤 武久	再 任	筑波大学 システム情報工学研究科	
小野田 崇	留 任	(財)電力中央研究所 システム技術研究所	
折原 良平	留 任	(株)東芝研究開発センター 知識メディアラボラトリ	
柏原 昭博	留 任	電気通信大学 電気通信学部 情報通信工学科	
加藤 昇平	新 任	名古屋工業大学 工学研究科 情報工学専攻	
加藤 恒昭	再 任	東京大学大学院 総合文化研究科 言語情報科学専攻	
河岡 司	新 任	同志社大学 工学部 知識工学科	
河原 達也	再留任	京都大学 学術情報メディアセンター	
黄瀬 浩一	再 任	大阪府立大学大学院 工学研究科 情報工学分野	
北上 始	再 任	広島市立大学 情報科学部 知能情報システム工学科	
北村 泰彦	再留任	関西学院大学 理工学部	
桐山 伸也	新 任	静岡大学 情報学部 情報科学科	
栗田 多喜夫	新 任	産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門	
桑田 喜隆	新 任	(株)NTTデータ技術開発本部 ユビキタスプラットフォームグループ	
小暮 潔	新 任	(株)国際電気通信基礎技術研究所基礎技術研究所	
小長谷 明彦	再 任	理化学研究所 横浜研究所 ゲノム科学総合研究センター ゲノム情報科学	
小西 達裕	留 任	静岡大学情 報学部 情報科学科	
櫻井 彰人	再 任	慶応義塾大学 理工学部 管理工学科	
桜井 成一朗	新 任	明治学院大学大学院 法務職研究科	
佐藤 泰介	再留任	東京工業大学大学院 情報理工学研究科 計算機工学専攻	
柴田 博仁	留 任	富士ゼロックス(株)研究本部 未来ワーク研究所	
白井 英俊	新 任	中京大学 情報理工学部	
新谷 虎松	新 任	名古屋工業大学 知能情報システム学科	
末田 直道	留 任	大分大学 工学部 知能情報システム工学科	
杉村 領一	新 任	パナソニックモバイルコミュニケーションズ	
杉本 謙二	留 任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科	
鈴木 宏昭	再 任	青山学院大学 文学部 教育学科	
住田 一男	再 任	(株)東芝研究開発センター 知識メディアラボラトリ	
園田 隆志	再 任	富士ゼロックス(株) 研究本部	
竹内 章	留 任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科	
武田 英明	新 任	国立情報学研究所	

竹田 正幸	留任	九州大学大学院 システム情報科学研究科 情報理学専攻
田中 伸一郎	新任	トヨタ自動車株式会社 F P 部
田中 謙	新任	北海道大学 工学研究科 電子情報工学専攻
辻 秀一	留任	東海大学 電子情報学部 情報メディア学科
辻井 潤一	再任	東京大学大学院 情報理工学系研究科 コンピュータ科学専攻
土屋 俊	再任	千葉大学 文学部
東条 敏	新任	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
徳永 健伸	新任	東京工業大学 情報理工学研究科
中島 克人	留任	東京電機大学 工学部 情報メディア学科
中野 幹生	新任	(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン
西野 哲朗	新任	電気通信大学 電気通信学部 電子情報学科
新田 克己	再留任	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 知能システム科学専攻
新田 恒雄	再留任	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科
沼尾 正行	新任	大阪大学 産業科学研究所 知能アーキテクチャー研究部門
沼尾 雅之	再任	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所 先進ITリソグラフィ担当
橋田 浩一	再任	産業技術総合研究所 情報技術研究部門
長谷川 隆三	再任	九州大学大学院 システム情報科学研究科 知能システム学専攻
馬場口 登	再任	大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻
平賀 謙	新任	筑波大学 図書館情報学部
平川 秀樹	留任	(株)東芝研究開発センター 知識メディアラボトリ
平田 圭二	新任	日本電信電話(株) コミュニケーション科学基礎研究所
平山 勝敏	留任	神戸大学 海事科学部
福島 俊一	再留任	日電(中国)有限公司 NEC中国研究院
房岡 璋	新任	立命館大学 理工学部 情報学科
藤田 悟	留任	日本電気(株) インターネットシステム研究所
古川 康一	再任	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科
前田 章	留任	(株)日立製作所 システム開発研究所
牧 秀行	再留任	(株)日立製作所 システム開発研究所 第1部
間瀬 健二	留任	名古屋大学 情報連携基盤センター
松居 辰則	新任	早稲田大学 人間科学部 人間情報科学科
松原 仁	新任	公立はこだて未来大学 システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科
松本 裕治	再任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
丸山 文宏	再任	(株)富士通研究所 ITコア研究所
宮野 悟	再任	東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター
毛利 友治	留任	(株)富士通研究所 特許推進部
森田 幸伯	留任	沖電気工業(株) 研究開発本部
安信 千津子	再留任	(株)日立製作所 ビジネスソリューション事業部
矢田 勝俊	再任	関西大学 商学部
山田 誠二	新任	国立情報学研究所 知能システム研究系
山之内 徹	留任	日本電気(株) インターネットシステム研究所
吉岡 真治	新任	北海道大学大学院 情報科学研究科 コンピュータサイエンス専攻
渡部 勇	留任	(株)富士通研究所 情報社会科学研究所
渡辺 崇	留任	名古屋大学 情報文化学部

(五十音順，敬称略)

留任	35名	内訳(昨年度)	大学関係：56名(50名)
新任	32名		国立機関：06名(05名)
再任	25名		企業関係：30名(30名)
合計	92名		合計：92名(85名)